

令和7年度 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）事業評価シート

事業名	さつま町創生GDXセンター事業
-----	-----------------

① 基本事項					
事業分野 (大項目)	選ばれる地方	事業分野 (詳細)	人や企業の地方分散 (移住促進・地方創生人材の確保・ 育成等の人材分野)	実施期間	R7-R9 (3年間)

② 事業概要					
【さつま町創生GDXセンターと「産官学金」の連携による未来創造】 <3つの柱> 1 女性が活躍できるまちづくり事業（女性デジタル人材の育成と就業支援） 女性デジタル人材の育成プログラムや在宅ワークの実施、就業・起業化支援等を行い、女性がデジタル技術を活かして活躍できる環境を整備する。 2 未来をつくるソリューション事業（地域事業所のDX支援と教育機関との連携） 地域内の中小企業や事業所へのデジタル導入・伴走支援を行い、経営改善を図るとともに、大学や地元の薩摩中央高校との連携・学生交流を推進する。 3 公民館・公民会（自治会）のDX推進事業（自治会運営業務の改善と地域コミュニティのデジタル化支援） 地域アプリ等の導入により自治会運営の効率化やペーパーレス化を図り、高齢者向けのデジタル教室開催などを通じて、地域コミュニティ全体のデジタル化を支援する。					

③ 令和7年度実施事業	
事業経費	※さつま町創生GDXセンター管理運営・整備構築事業
概要	センターの管理運営、全体プロジェクト進行管理、民間企業や大学等との連携・伴走支援体制の構築。
主な実績	【R7年度実績】 ・産官学連携包括連携協定締結 ・GDXセンターの開設（法人化） ・GDXセンターWEBサイト及びBPOシステムの初期構築 ・デジタル人材育成用ノートPC、ヘッドセット調達・配備 ・デジタルワーク講座PR用チラシの制作・印刷と全戸配付
事業費	¥14,910,000

事業経費	1 女性が活躍できるまちづくり事業
概要	女性向けのデジタルスキル習得プログラムの提供、デジタル人材育成講座の開催。
主な実績	【R7年度実績】 ・デジタルワーク講座受講生募集 ・女性デジタル人材育成プログラム、デジタルワーク（基礎・応用）講座開講 ・オンラインおよび対面を組み合わせた実務に即したカリキュラムの実施
事業費	¥12,512,670

事業経費	2 未来をつくるソリューション事業
概要	町内中小企業・事業所への伴走支援
主な実績	【R7年度実績】 ・町内中小企業・事業所訪問、DX,デジタル人材活用提案、協議 ・鹿児島国際大学への寄付講座及び学生交流イベントの企画、協議
事業費	¥0
事業経費	3 公民館・公民会（自治会）のDX推進事業
概要	自治会（公民館・公民会）向けアプリの導入 アプリを活用した自治会運営改善及びデジタルデバイト対策 モデル自治会から町内自治会（公民館・公民会）への普及、拡大
主な実績	【R7年度実績】 ・自治会（公民館・公民会）、高齢者向け地域アプリ開発、協議 ・アプリ活用モデル地区の意向調査、選定 ・アプリを活用した自治会内情報伝達（回覧板等）の操作説明（デジタルデバイト対策含む）
事業費	¥0

令和7年度 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）事業評価シート

④ 重要業績評価指標（KPI）				
指標1	指標名	女性の新規就業者数		
		R7年度	R8年度	R9年度
	目標値	10名	20名	30名
	実績値	0名	—	—
指標2	指標名	女性デジタル人材の育成		
		R7年度	R8年度	R9年度
	目標値	10名	10名	10名
	実績値	0名	—	—
指標3	指標名	女性デジタル人材育成プログラム累計参加者		
		R7年度	R8年度	R9年度
	目標値	50名	100名	150名
	実績値	14名	—	—
指標4	指標名	GDXサポート中小企業社数		
		R7年度	R8年度	R9年度
	目標値	6社	9社	15社
	実績値	2社	—	—
指標5	指標名	自治会アプリ活用		
		R7年度	R8年度	R9年度
	目標値	5自治会	15自治会	20自治会
	実績値	1自治会	—	—

⑤ 事業費について			
R7-R9 総事業費	154,225千円（うち国庫補助77,112千円）		
R7 事業費	¥27,422,670		
財源内訳	国庫補助金	¥13,711,000	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）
	その他の特定財源	¥0	(なし)
	一般財源	¥13,711,670	(なし)

⑥ 今後の方針について
女性デジタル人材の育成と就業支援、地域企業のDX推進及び自治会DXを産官学金で推進し、持続可能な地域社会の構築を目指す。 R7年度は、産官学金の包括連携及さつま町創生GDXセンター立ち上げと法人化を行い、女性のデジタル人材育成基礎プログラムの展開に注力した。R8年度以降は、3つの柱を本格的に実施し、デジタル人材育成から就労・中小企業等の経営改善効果の創出につなげつつ、GDXセンターの自走化に向けた取組を進める。

⑦ 総合戦略推進評価部会（外部評価）		
No.	ご意見・ご質問等の内容	事務局回答
1	女性デジタル人材育成プログラムの修了生が、実際に町内企業でどのように就業・活躍できているか、追跡調査や就労支援の仕組みはどうなっているか。	修了生に対しては、センターの伴走支援員が個別に就職相談やマッチングを行い、就労状況を継続的にフォローアップします。また、在宅ワーク等の多様な働き方の開拓も進めてまいります。
2	自治会アプリの導入において、高齢者の利用に対するサポートやデジタル教室の開催実績はどのようになっているか。	公民館等の身近な場所で、アプリの操作説明会やデジタル教室を開催し、高齢者の方々が安心して利用できるよう丁寧に伴走支援を行います。